

## 特別勘定マンスリーレポート

## スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

## ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

特別勘定の名称	グローバルマーケット型
主な運用対象の投資信託	クレディ・スイス世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用)
投資信託の運用会社	クレディ・スイス投信株式会社

## ユニット・プライスの騰落率

期間	騰落率
1か月	2.34%
3か月	▲0.96%
6か月	▲19.03%
1年	▲27.67%
3年	▲30.15%
設定来	▲15.44%

## 特別勘定資産内訳

資産内訳	構成比(%)
現金・預金	0.4%
債券	99.6%
株式	100.0%

## 参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

## クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	2.46%	▲0.69%	▲18.69%	▲26.98%	▲27.73%

## ■通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	37.20%	40.20%
ユーロ圏	31.56%	26.39%
イギリスポンド	7.15%	7.94%
豪ドル(含NZD)	1.08%	1.59%
スイス・フラン	0.99%	2.13%
日本円	22.02%	21.76%
合計	100.0%	100.0%

\* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

## ■上位10銘柄

銘柄	株式	国名	業種	投資比率
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.74%	
GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	ヘルスケア	0.69%	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカ	ヘルスケア	0.64%	
BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	0.62%	
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	金融	0.60%	
VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	0.60%	
E.ON AG	ドイツ	公益事業	0.59%	
GROUPE DANONE	フランス	生活必需品	0.55%	
MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	0.54%	
ABB LTD	スイス	資本財・サービス	0.53%	
合計			6.08%	

銘柄	債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債		4.250	2014/07/04	2.11%
ドイツ国債		4.000	2037/01/04	1.82%
フランス国債		5.000	2016/10/25	1.47%
フランス国債		3.500	2011/07/12	1.46%
第63回利付国債(5年)		1.200	2012/03/20	1.41%
イギリス国債		5.000	2018/03/07	1.31%
ドイツ国債		5.000	2012/01/04	1.31%
フランス国債		3.500	2015/04/25	1.28%
第61回利付国債(5年)		1.200	2011/12/20	1.26%
第64回利付国債(5年)		1.500	2012/06/20	1.24%
合計				14.66%

## ■資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	45.94%	50.00%	-4.06%
北米地域	21.53%	27.08%	-5.54%
欧州(除く英国)	12.41%	10.02%	2.40%
英国	4.60%	4.80%	-0.20%
日本	4.91%	5.86%	-0.94%
香港・シンガポール	1.32%	0.80%	0.52%
豪州・ニュージーランド	1.16%	1.45%	-0.29%
債券	51.01%	50.00%	1.01%
米ドル圏	8.54%	12.46%	-3.92%
欧州(除く英国)	21.48%	18.49%	2.98%
英国	5.23%	3.14%	2.09%
日本	15.77%	15.91%	-0.14%
現金	3.05%	0.00%	3.05%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

## ■運用コメント

## 市場概況

世界の株式相場は3月には上昇しました。米国では不良資産買取に関する計画が一步前進したこと、米国と英国では中央銀行が国債を買い取る量的緩和と政策発表が発表され金融緩和の面でも一段と踏み込んだ政策が取られたことなどが背景として挙げられます。地域別には米国、カナダ、オーストラリアなど、セクター別には金融や素材関連などの銘柄が大きく反発しました。債券相場は上記記量的緩和と政策発表を受けて欧米特に米国と英国で長期金利が低下しました。一方日本債券は日銀による国債買取額拡大などを背景に下旬まで利回りは低下傾向を示しましたが月末にかけて需給悪化懸念から利回りが上昇し相場は下落しました。為替市場では上記米国の量的緩和などを背景として米ドルがユーロなど欧州通貨に対して反発しました。欧州中銀は利下げを行ったものの量的緩和にはまだ踏み切っていません。

## 運用概況

3月のファンドのパフォーマンスは約2.46%となりました。国内外株式および外国債券の保有がプラスに寄与し、日本債券の保有は小幅マイナスとなりました。為替市場では円安傾向となり、特にユーロと豪ドルが上昇しました。ポートフォリオにおいてはグローバル株式のウェイトを引き上げて基準値に近づけるとともに、外貨の保有を増やし中立に近づけました。

## 運用方針

マクロ経済指標を見る限り世界の景気見通しは依然として不透明ですが、住宅統計や企業景況感指数など一部の指標は低水準ながらも安定化の兆しを見せています。今後特に先行指標が底入れするかどうか注目されます。米国の複数の銀行が今年に入ってから業績についてポジティブなコメントを出していますが、金融機関の業績が底打ちするかどうかはより慎重に見る必要があると思われます。全体として見てこれまでの株式相場の反発は依然としてベア・マーケット・ラリー(弱気相場の中の一時的な反発)という見方を払拭できませんが、今後最安値の更新を回避できる可能性があるため、株式を中立まで積み増す方針です。政府や中央銀行の積極的な景気刺激策は将来のインフレ懸念をはらんでいます。当面それが表面化するのではないと予想されます。むしろ需給悪化懸念から債券は中立から小幅アンダーウェイトにとどめる方針です。為替に関しては投資家のリスク許容度が回復してきていることから当面は円安が進む可能性があり、ほぼ中立水準を維持する方針です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、2/2ページ「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

## 当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

### ご注意いただきたい事項

#### ▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

#### ▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

#### ▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して <b>5.0%</b> を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して <b>(年率0.75%+運用実績に応じた費用(※))</b> /365日を毎日控除します。 ※ 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が <b>年率1.5%を超過</b> した場合のみ、 <b>超過分1%あたり0.1%(上限1.25%)</b> を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の <b>1%</b> を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 <b>年率0.714%程度</b>

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

### その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行  
〒107-8480東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]

 **アクサ フィナンシャル生命保険株式会社**  
redefining / standards

〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F  
TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260  
<http://www.axa-financial.co.jp>

AFL-B-2009-171-090424/Inv